

訪問者も住民も一緒にセルフビルド！ ～飯綱高原ビジターセンター（仮称）整備事業

取り組みに至る背景・事業の目的

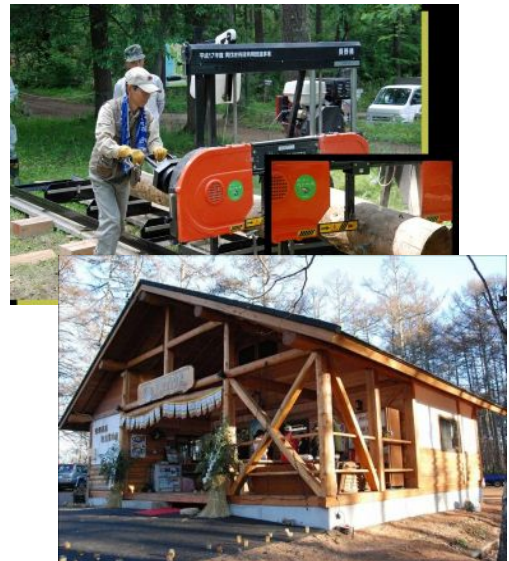
長野市1,200万人観光交流推進プランに基づき、平成20年度は飯綱高原地域において観光集中キャンペーンが展開された。観光業者と地域住民が一体となった実施体制（オトナリ高原プロジェクト）のもと、「みんなでつくる飯綱高原イヤー」を基本コンセプトに、地域資源を最大限活かした滞在型、体感型観光メニューを提供するため、飯綱高原地域のまちづくり団体として企画・実行に参画した。

当キャンペーンの象徴・メインイベントとして、訪問者への観光・地域情報の発信拠点と住民との交流拠点を創り、当地域への誘客・留客（リピーター確保）と持続的な観光まちづくりの推進を図るため、セルフビルドの「飯綱高原ビジターセンター」を整備することとした。

事業内容

飯綱高原ビジターセンター「オトナリハウス」を地元観光事業者・住民と訪問者（ボランティア）が協働でセルフビルドにより建設・整備を行った。

- 建設地：長野市飯綱高原（大座法師池駐車場）
- 規模・構造 木造（ログハウス、ポスト&ビーム工法）
1階建 98.20㎡ 観光ガイドスペース＋多目的ホール
- 工期：平成20年5月～10月
- 観光事業者・住民と訪問者（ボランティア）による建築作業（構造材・部材の伐採、製材、加工、仕上げなど）
作業延べ日数 24日 延参加者人数 317人
- 整備に携わった方の芳名盤（端材の有効利用）の作成



事業効果

- 自分たちの想像以上に立派で、愛着のある建物を完成させることができ、今後の飯綱高原への誘客、留客（リピーター）につながる観光・交流拠点、情報発信拠点を創ることができた。今後、施設の機能を十分に活かした観光・交流事業を展開し、訪問者との交流を促進することにより、更なる事業効果をもたらしていく。
- 事業目的に掲げた「協働の施設づくり」について、長野市内から全工程に参加していただいた熱心なボランティアと一緒に、地元住民が力を合わせて作業に取り組んだことで、飯綱高原への誇りと愛着の醸成が図られ、今後の地域活動にも活気をもたらすきっかけとなった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 飯綱高原観光協会が運営する観光案内所を平成20年12月1日に移設し、多様な観光・地域情報をワンストップで訪問者に提供し、顧客満足度を向上させ、訪問者の増加、リピーターの増加を図っていく。
- 今後は本施設を拠点に、多目的スペースにおける体験・交流イベントの実施、マンスリーライブの開催、「杜（森）の講座」（定期的実施中のエコトレッキング）などのターミナルとしての活用など、訪問者との交流事業を積極的に展開することにより、観光事業者と住民が一体となって地域資源を活かした観光・交流まちづくりを推進していく。

【選定のポイント】

住民協働により愛着ある施設が整備され、さらなる交流促進の拠点としての活用が期待できる。

団体名	特定非営利活動法人 飯綱高原よっこらしよ（長野市）	事業タイプ	ハード事業
連絡先	事務局 山室秀俊 電話 026-239-3299	事業費	7,500,000円
ホームページ	http://iizuna.org/	支援金額	5,000,000円